



どんぐりの森だより20号

2019 春爛漫

人が手を加えた川は手当しないといけない。里山も同じ。

(水生生物にやさしい魚道を作る、安田陽一)

地域活動の入り口には「正しさ」ではなく、「楽しさ」が必要なのです。(山崎亮)



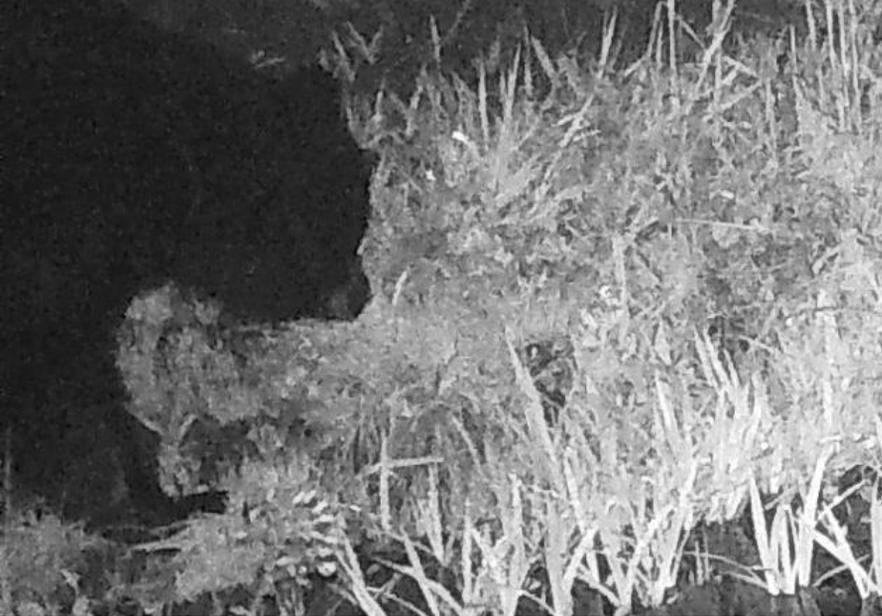
10年の森にこぶしの花咲きて

水辺に生える芹やクレソン 進

松葉森山のどんぐりの森の木々が花開き、コブシをはじめとして、山桜、ウグイスカグラの花が見ごろとなりました。耕作放棄地に木を植えて10年の歳月が流れ、誰が見ても立派な森となりました。土地にゆかりのあった、今は亡き佐藤善幸会員もさぞかし喜んでいることでしょう。

先日は、地元の方から「車で通りかかったら、あなた方の森の中にカモシカがいたので速度を緩めたのだけれど、逃げる風でもなく、じっとこちらを見ていたのには感動しました」と話しかけられました。また、動物たちがのどを潤す水辺に、芹やクレソンが生育していることは、その水の清らかさの証明であり、彼らにとっては、さぞかしうまい水なのでしょう。4月7日(日)に今年最初の定例作業をやり、チェーンソーで木の下枝を切り取り、エンジン刈払い機で国道沿いの笹の刈払いをやりました。昼食後には、参加者全員で手代塚山の皆伐萌芽更新の作業現場へ行き、薪ストーブの会の小笠原氏の説明を受けながら、伐採状況の確認をすることができました。木の伐採は3月で中断されて、4月からは萌芽更新を促すための下草刈りや、伐採跡地への幼木の植樹作業に入るとの説明がありました。私たち「どんぐりの森」としても、そういった作業に積極的に参加していきたいと思っています。森づくりの活動を通して体験した感動を、多くの人に話していきながら、新しい会員の増員につなげていきたいと思っています。

NPO法人どんぐりの森 理事長 松田 進



例会は6月から、
第一土曜（原則）
どんぐりの森に
 9時集合



どんぐりの森
 どんぐりの森

クマが来ました。

4月26日 今年初めての出現、なぜだかうれしい気持ちになります。

前ページの花の名前から
 左からキイチゴ、タチツボスミレ、コブシ、ウグイスカグラ



どんぐりの森
 どんぐりの森

初登場

3月14日水辺にアライグマがカメラ設置後初めて姿を見せました。北上してきたのでしょうか？
 まるまる太っています。かわいくもあり、憎くもあります。



どんぐりの森
 どんぐりの森

チョウの通り道

4月16日沼の平の車道でヒメギフチョウ（今春羽化）、クジャクチョウ（成虫で冬越し、羽のふちが壊れている）と出会いました。日向ぼっこですね。

ベニシジミ（5月7日）





どんぐりの森、水辺作り



2019.5月7日 アカハライモリ（右上）のたまごがかえり、親はほとんど隠れる様子もなく、水辺は再度にぎやかになりました。2月のカエルのオタマジャクシはすでになく、3月14日にアライグマが覗きに来て、4月26日にクマ、その間リス、タヌキ、キツネ、カモシカ、ウサギ、テン、ネコ、サル、キジ、ヤマドリ。カケス、等々常連客が、どんぐりの森を訪れています。

周囲の植物は、フキノトウにはじまり、キブシ、ネコヤナギ、ムシカリ（オオカメノキ）、コブシ、サクラ、ナシ、、、ナラ、クルミ、木の花が咲き乱れます。

手代塚山、里山の管理

2019,4月吉日どんぐりの森の駐車場に杉板のテーブルと玉木の椅子が、薪の会の会員によって設置されました。おいしい空気、お茶、お弁当に持って来いです。

3月末で、伐採は中断、4月からは薪作りになり、玉木がきれいに積み上げられています。日が明るく差し込む斜面は、スプリング・エフェメラル!! カタクリ、エンレイソウ、スマレ、、、シドケ、ヤブレガサ春のお花畑です。



お知らせ

会員の小関敏明さんが木工で、どんぐりの森に看板を作ってくれることになりました。看板に載せたい文言、画像、木像など希望をお寄せください。

正会員	入会金 2,000円（減額しました）	年会費 3,000円
賛助会員	入会金無し	年会費 3,000円

別に寄付金もいただけると幸いです。

振込先 **ゆうちょ銀行** 記号 18140 番号 14685571 トクヒ)どんぐりノモリ
ゆうちょ口座間の送金で、1回までは手数料無料です。

連絡先 郵便番号 982-0252 仙台市太白区茂庭台1丁目8番10 須田逸子
郵便番号 989-1501 柴田郡川崎町字松葉森山1-105 松田進

HP <https://aonenokumajimdo.com> (例会、動物の種類、集計、グラフ、その他を掲載)